

◆講演会 平成 25 年 8 月 10 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分

場所 福祉センター

I 部 基調講演 「家庭系ごみの有料化の意義と効果」

東洋大学経済学部山谷修作教授

II 部 対談 「鎌倉のごみ事情と戸別収集・有料化」

東洋大学経済学部

鎌倉市長

山谷修作教授

×

松尾 崇

III 部 質疑応答

Q 名越クリーンセンターはいつごろまで持つのですか。

市長 現在、延命化の工事を行っていて、あと 10 年は使用できるようになります。

Q ごみ処理施設に関して、もっと早くに計画を立てるべきだったのではないのでしょうか。

また、新焼却施設は、深沢の国鉄の跡地に焼却場を作ってはいかがでしょうか。横浜市などは、ごみ処理場の熱を利用した温水プールを併設しています。

市長 いままで広域の焼却処理施設等の計画には参加していましたが、鎌倉市独自でごみ焼却場を作る方法が具体化されてこなかったことは事実です。

基本構想をもとに、新焼却施設の規模と場所の選定を行っていきます。市民の皆さんに情報開示をしながら進めて行きたいと考えています。

Q 有料化には賛成ですが、戸別収集については賛成できかねます。戸別収集の全国の実施率はどのくらいですか。

山谷先生 有料化をしている自治体については、戸別収集を行っている比率が高いです。東京では、多摩地域が中心となって、戸別収集を行っています。町田市でも、モデル地区で戸別収集を導入しました。藤沢市も、多摩地域の戸別収集方式を導入しました。

多摩地域は、ごみの減量・資源化は全国的に上位です。減量効果が上がったのは、戸別収集と併せて有料化を実施したためだと思います。

また、生ごみは可燃ごみの 4 割近くを占めていますが、8 割が水分ですので、水切りを行うことによって、名越クリーンセンターで焼却する負荷が減ることになります。

Q 現在のカラス対策ですが、クリーンステーションでのネットがうまく効を奏しています。戸別収集になると、カラスが来てごみを散らかさないか心配です。また、植木剪定材は、現在無料ですが、有料になるのでしょうか。

山谷先生 戸別収集は、カラス対策に間違いなくなります。例えば、多摩市域では、門の扉にごみを吊るしておく方もいらっしゃいますが、ごみが吊るされていると、カラスが留まる場所がないため、ごみをつつけません。蓋つきのごみ箱の中にごみ袋を入れている方も多い。個々に自分でカラス対策をするので、散らかされなくなり、むしろ改善されています。

市長 植木剪定材は、資源物なので、有料化はしません。

Q 有料化・戸別収集は一緒に進めるのは難しいような気がします。生ごみの水切りについて、もっと啓蒙が必要だと思います。有料化・戸別収集のデメリットは、収集コスト・費用負担の増大だと思います。協力はしていくつもりですが、例えば行政から企業に過剰包装を減らすよう指導するなどしていただきたい。

市長 今後も、メリット・デメリットあわせて、広報していこうと考えています。

過剰包装の件ですが、企業の生産者責任としてごみに対して費用負担をしてもらうことが、行政として大切だと考えています。さまざまな機会をとらえて国に訴えておりますが、なかなか仕組みができるのは難しいのが現状です。今後も訴えていきますが、皆様からも声をあげていただいて、機運を高めていくことが大事だと思っています。

Q 平均的に、袋の費用は世帯当たりいくらかかるのでしょうか。戸別収集では、5億円程度収集費用が増えるのでしょうか。狭小地も多く、収集が難しいのではないのでしょうか。今のままのクリーンステーションで、有料化のみを行う方法は取れませんか。

市長 確かに、費用がかかることが唯一最大のデメリットだと思います。きちんと情報を伝えていきたいですし、併用での実施を考えていますが、鎌倉市としてどのようなやり方が適切か、考えているところです。

山谷先生 直営収集と民間の委託収集と、現場の状況を精査し、コストを下げる作業はされた方がいいと思います。ヒントは現場の中にあると思います。

市長 試算では、市が指定した有料袋を購入するのに、世帯当たり年間 5,000 円程度の負担になると思われます。

Q 大きな目的は、燃やすごみを減らすということだと思います。4万トンから1万トン削減するという効果を出すことが必要だと思います。

市長 ごみ減量ニュースなどで、削減の推移をお示ししています。より減らそうという方向に、皆さんの意識をつなげていきたいです。

Q クリーンステーション方式を継続希望です。先ほど、山谷先生が、併用方式は混乱があるとおっしゃっていましたが、我々のクリーンステーションは谷戸にあるので、混乱はないと思います。

山谷先生 狭小地や谷戸地域については、行政の方がクリーンステーションで収集を行いたいとお願いする場合があります。多摩地区については、そのような地域について、クリーンステーション方式があります。さきほど申し上げたのは、市街地の中で、町目ごとにクリーンステーション方式を併用すると、混乱しますという意味です。

Q いままでのクリーンステーション方式で、有料化だけを実施して、有料袋の歳入を何か違うものに使ったらどうでしょうか。5億円を新しい焼却施設のための基金としてとっておいて、積立てたらいいいのではないのでしょうか。

市長 収集コストに関する問題提起をありがとうございます。戸別収集のコスト削減に努めていきたいと考えております。

Q 集合住宅対策の事例を教えてください。

山谷先生 西東京市は、直営収集があり、その方々の実力がすごいです。集合住宅は戸別収集が難しいにもかかわらず、排出場所に部屋ごとにごみを掛けるフックを作成し、戸別収集を行っています。また、中身を気にされる場合は、バケツに部屋番号を記載して対応しているところもあります。今では、150 棟ほど行っています。八王子市では、集合住宅について優良排出管理認定制度があり、ごみの排出・分別等が正しく行われている集合住宅については、優良認定のシールを貼っています。地域の方々の安心にもつながりますし、アパートなどを借りる時に、認定証は参考になります。こういった他市の事例を踏まえて、いろいろな工夫が必要だと思います。

Q 今泉クリーンセンターが焼却停止になった場合、人件費や経費はいくら減りますか。また、他市に 8,000 トンの焼却を頼んだ場合は、年間いくらかかるのでしょうか。約 5 億円

の負担は大きいと思います。

市長 今後、さらに詳しい情報開示が必要であると考えています。今泉の経費については、今手元に資料がありませんが、他市への焼却をお願いする場合は、トンあたり2万円から3万円の経費がかかります。貴重なご意見ありがとうございました。

Q 戸別収集と有料化は、別の問題だと思っています。アンケート調査を自治会で行いましたが、クリーンステーション継続希望者が大半を占めていました。クリーンステーションは地域のコミュニケーションの場となっていて、福祉の側面から重要ではないかと考えています。

市長 私も日常生活の中で、地域のコミュニケーションの場として機能していると感じていますが、行政では、ふれあい収集やファイヤーヘルパーといった施策も行っています。地域の民選委員さんや様々な施策が重なり合って、福祉や地域のふれあいをカバーしていると考えています。クリーンステーションのみが、地域の交流の場ではないと考えていますし、戸別収集が福祉をないがしろにする結果になるとは思いません。

Q バイオマスの設備は夢があっていいと思っています。有料化でゴミ袋が増え、戸別収集で二酸化炭素排出量が増えます。効率的な施策なのか疑問があります。

市長 ごみ行政の全体像がわかりにくいいため、様々な資料を提示していきたいと考えていますし、戸別収集・有料化に不信感を持たれてしまっていることに対して、申し訳なく思っています。ゴミ袋については、どの程度増えるのかまだ正確には把握できてはいませんが、その他の環境負荷についても、議論できるよう、情報を開示していきたいと考えています。

山谷先生 ゴミ袋についてですが、有料化で皆さん小さいゴミ袋を使うようになりますので、ゴミ袋の総量は減ります。

Q 戸別収集・有料化は、決定のでしょうか。

市長 あくまでも予定です。